

## 大館の子どもたちにも「キャリア教育」は必要？

全国トップレベルの学力と体力、体格を備えた子どもたちも、社会人として自立するには、まだ十分ではありません。

子どもたちが育つ社会環境の変化により、子どもたちの生活習慣の確立、精神的な自立、社会的な自立には課題も見えています。子どもたちの姿は実社会から隔離され、家庭の生活感、地域での様々な世代との関わり、自然体験や勤労体験の機会が奪われつつあります。



### 子どもたちの自立への課題

家庭の機能、身近な大人が地域や職場、家庭の中で果たす役割が見えにくい

自ら気付いたり、感じ取ったり、考えたりすることなど実感を伴う経験が不足

自分への自信や存在価値の実感が希薄

大館のよさを自分の将来と結び付けにくい

社会人として生きるための態度や能力が未熟

困難なことにも立ち向かおうとするたくましさに欠ける

探究の過程から生まれてくるさらなる願いを具体的な行動に移せない

教科で身に付けた力を活用する機会が少ない

学 校

自分らしい生き方  
学ぶことの意味や働くことの意味  
自分と社会とのつながり

社 会



大館市は、少子高齢化などの課題を抱えています。子どもたちは実際の進路選択では、高等学校卒業後、市外、県外への就職や進学が6割を超え、せっかくの人材も大館の未来につながりにくくなっている現状があります。